

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
どよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2020年3月9日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R639 5	単純ヘルペス ウイルス 1型・2型-IgG 5F195-1431-023-041	血清 0.6	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (15日)	3~5	218 ※5	FIA	0.9未満 (AI) 判定基準：下記参照	

※5：免疫学的検査判断料



## ●単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG

HSV-1（1型）とHSV-2（2型）の型特異性が高い検査です。

単純ヘルペスウイルス（HSV）は、血清型および遺伝子型から、HSV-1（1型）とHSV-2（2型）に分類されています。

HSV感染症のほとんどは、症状を認めない不顕性感染ですが、ウイルスの型（1型・2型）や感染経路により多彩な病態を持つことが知られています。病態は皮膚のバリア機能や全身の免疫機能が関与し、その再発頻度はウイルスの型などによって決定されると考えられています。

現在、中和法（NT法）などによる型の鑑別がおこなわれていますが、1型と2型に強い交差反応があり、血清学的にHSV-1およびHSV-2感染症を鑑別診断することができませんでした。

本項目は、型特異性が高いHSVエンベロープ糖タンパク抗原の1つであるグリコプロテインG（gG）を抗原とした抗体検出法を用い、型特異性が高い抗体検出が可能となりました。特に、再発を繰り返すHSV-2（2型）を正確に鑑別し、再発頻度の予測や再発防止にご活用ください。

### ▼疾患との関連

単純ヘルペスウイルス（HSV）感染症

### ▼関連する主な検査項目

単純ヘルペスウイルス 1型〔NT〕  
単純ヘルペスウイルス 2型〔NT〕

### ▼検査要項

検査項目名	単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG
項目コードNo.	R639 5
検体量	血清 0.6mL
容器	S09→ A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください。
所要日数	3～5日
検査方法	FIA
基準値	0.9未満（AI） 判定基準：下記参照
検査実施料	218点 （「D012」免疫学的検査判断料 「38」イ グロブリンクラス別ウイルス抗体価（ヘルペスウイルス））
判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	

### [ R639 5 ] 単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG の判定基準

判定	HSV-1型（抗体価*）	HSV-2型（抗体価*）
陰性（-）	0.9未満：陰性（-）	0.9未満：陰性（-）
判定保留（±）	0.9未満：陰性（-）	0.9～1.0：判定保留（±）
	0.9～1.0：判定保留（±）	0.9未満：陰性（-） 0.9～1.0：判定保留（±）
陽性（+）	0.9未満：陰性（-）	1.1以上：陽性（+）
	0.9～1.0：判定保留（±）	0.9未満：陰性（-） 0.9～1.0：判定保留（±）
	1.1以上：陽性（+）	1.1以上：陽性（+）

※メーカー設定した抗体価。単位はAI（Antibody Index）

### ●参考文献

林 伸英, 他：生物試料分析 36（3）：229～234, 2013.（検査方法参考文献）

川名 尚, 他：日本性感染症学会誌 26（1）：53～59, 2015.（臨床的意義参考文献）